

氷見の元気を発信する情報誌

広報

ひび

①

January, 2021

No.807

皆さまにとって
明るい1年になりますように

- 2 新年のごあいさつ
- 4 氷見市10大ニュース
- 6 市内各施設仕事始め
- 7 冬の新型コロナウイルス感染症 対策と対応
- 8 税の申告準備
- 22 台湾高雄市鼓山区と友好交流都市協定締結

氷見市長

林 正之



謹んで初春のお慶びを申し上げます。
皆さま方におかれましては、輝かしい新春をお健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

旧年中は、市政発展に温かいご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
平成29年4月に多くの市民の皆さまの温かいご理解とご支援をいただき市長に就任して以来、はや4年が経とうとしております。改めて職責の重さに身の引き締まる思いをいたしながら、初心を忘れることなく、本年も全力で市政運営に当たってまいります。

少子高齢化、人口減少社会を迎え、本市では、未来に向けたチャレンジとして、「住みたい街」「働きたい街」「育てたい街」を基本理念とするまちづくりを実現するため、さまざまな施策を進めてまいります。

「住みたい街」では、新文化交流施設の建設に着手したほか、消防出張所の整備や中国浙江省寧海県および台湾高雄市鼓山区との友好交流都市協定締結などを進めてまいりました。

「働きたい街」では、中小企業や起業家支援のためのビジネスサポートセンター(Himi-Biz)の開設やまんがロードの延伸、楽しく中心市街地を回遊していただく電動モビリティ「ヒミカ」を導入しました。

「育てたい街」では、県内初の9年間の義務教育学校となる西の杜学園の開校、小中学校の一人一台のタブレットパソコン整備、学校給食センターの整備や海浜植物園のリニューアルなど、市民の皆さまがいきいきとした生活を営み、子どもを生み育てられる社会環境の実現に向けた取り組みを進めてまいりました。

今日の人口減少時代において、人口が減少しても市民の皆さまが幸せに暮らせる氷見市をつくるため、20年後、30年後を見据え、行政のみならず市民や民間とも連携し、オール氷見で取り組んでまいり所存ですので、皆さまのより一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、昨年から世界中で猛威を振るう新型コロナウイルス感染症はいまだ収束のめどが立っておりません。

感染拡大防止対策と地域経済回復の両立という大変難しい局面を迎えており、本市におきましてもウイズコロナやアフターコロナの時代を見据えた取り組みを進めてまいります。新型コロナウイルス感染症の一日も早い収束を切に願うものであります。

結びに、新しい年が皆さまお一人おひとりとりまして、素晴らしい年となりますようご祈念いたしまして、年頭のご挨拶いたします。

年 新 賀 謹

氷見市議会議員

萩山 峰人



明けましておめでとうございます。

市民の皆さまにおかれましては、清々しい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

私は、昨年11月の市議会臨時会において、図らずも議長に就任し、その責任の重大さを痛感するとともに、身の引き締まる思いをいたしております。微力ではありますが、市政の発展と、市民の声を伺いながら、公平で円滑な議会運営に誠心誠意努力してまいりたいと存じます。

昨年を顧みますと、新型コロナウイルス感染症の拡大により、学校の臨時休校や飲食店の休業要請、移動の自粛要請など、市民生活は大きな影響を受けました。

また、政府においては急遽辞任された前首相に代わって発足した新政権や、富山県では知事選挙により新しい知事が誕生するなど、正に激動の1年であったと思います。

一方氷見市においては、県内初の義務教育学校である西の杜学園の開校を始め、漁業文化交流センターや海浜植物園のリニューアルオープン、新文化交流施設建設工事の着手など、前途を明るく照らしてくれる出来事もありました。

しかしながら、新型コロナウイルスの収束は見通せず、経済活動の回復もままならない状況です。

いつの時代にも、また何事においても、足元をしっかり固め、先を見越して着実に前進していくことが肝要であります。今年のえとの丑年では、目の前のことを着実に進めることが将来の成功につながるというわれています。よりよい郷土づくりを目指し、諸課題の解決のため、着実に歩を進めていかなければなりません。

市議会におきまして、市民の代表である議員一人ひとりの意見に耳を傾けながら、施策の有効性を高める議論をより一層進めてまいりたいと考えております。

これからも、時代のニーズに即した市民本位の行政運営が実現されるよう全力を傾けてまいり所存でありますので、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

改めまして、本年の皆さまのご健勝とご多幸を祈念し年頭のご挨拶いたします。

第3位 HIMI NEWS 新型コロナに負けるな がんばろう氷見市



宅配サービス「ヒミデリ」



教職員のメッセージ動画

●新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、4月に政府が緊急事態宣言の対象を全国に拡大し、県が外出自粛と休業要請を求めた。コロナの収束が見通せない中、国の経済対策（1人10万円の定額給付金支給など）や、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用したキャンペーン事業や融資、雇用対策関連の補助事業を、各種団体と連携して展開。売上が大幅に減少する飲食店や宿泊施設等を応援した。また、臨時休校に伴う自宅待機中の児童生徒に対し、オンラインによる学習支援や、教職員のメッセージ動画を配信し応援した。

第2位 HIMI NEWS アジアの都市と友好交流都市協定締結 (中国寧海県、台湾高雄市鼓山区)

- 10月、介護分野等での人材交流を行っている中国寧海県と友好交流都市協定を締結し、経済・福祉・教育・観光など幅広い分野で今後一層の親善交流を進める。海外都市との友好交流都市協定は初めて。
- 市出身の実業家・浅野総一郎翁が港湾や鉄道整備で貢献した縁で、2月に市立博物館と台湾の高雄市立歴史博物館が友好協定を締結。歴史文化的な面から交流を進める中、12月に高雄市鼓山区との友好交流都市協定を締結。アフターコロナを見据え、再び人の往来が活発化することが予想されるアジアの都市との交流を進める。



リモート形式で行われた締結式
寧海県との様子



鼓山区との様子

第7位 HIMI NEWS 漁業文化交流センター、海浜植物園 リニューアルオープン

- 6月、漁業文化交流センター（ひみの海探検館）は、大型の4面シアターによる大迫力のVR（仮想現実）映像や、スマホをかざすと情報が出てくるAR（拡張現実）ストリームを設け、富山湾や氷見の魚、伝統の越中式定置網等の魅力に触れることができる施設となった。
- 同じく6月、海浜植物園（シーサイドパーク）は、子育て世代などが雨の日でも遊べる「子どもの遊び場や学び場（ネット遊具やふわふわドーム）」、人と人との交流を生み出す「憩い・学びの場（リカレント研修室）」を新設した施設となった。



漁業文化交流センター内



海浜植物園内

第6位 HIMI NEWS 北陸初 伴走型ビジネスサポートセンター Himi-Biz 始動

- 6月、氷見まちづくり協議会は、市内本町のJA支店跡に「ビジネスサポートセンターHimi-Biz」を開設。国の地方創生推進交付金を活用して設置し「行列のできる経営相談所」として全国的に注目を集める「Bizモデル」を取り入れた伴走型の相談窓口。中小企業や創業者の幅広い業種の方との対話から、売上げ向上や新規事業開発を支援する。相談件数は555件に上る（12/15現在）。



北陸初
伴走型ビジネスサポートセンター
Himi-Biz 始動

第10位 HIMI NEWS クマ出没 市街地に警戒続く

- 10月、クマが目撃された上日寺や市街地周辺では、氷見署や市、消防、猟友会が警戒を続け、注意を呼びかけた。氷見署と市内関係機関は「緊急熊対策合同会議」を開き、今後も情報共有を図り、クマ被害を未然に防ぐため連携強化することを確認した。市内のクマの目撃・痕跡発見は、昨年度の3件を大幅に上回り今年度58件（12/15現在）。



クマ目撃現地調査（上日寺）

第1位 HIMI NEWS 笑顔に出会えるまちへ 市街地整備が進む

- 9月、まちなか回遊促進モビリティ「ヒミカ」（小型電気自動車）が、ひみ番屋街とJR氷見駅を発着点に運行開始。「まちなか観光の足」となる。
- 10月、旧市民病院跡地の新文化交流施設建設予定地で、安全祈願祭・起工式を開催し、令和4年7月竣工を目指して建設工事をスタート。市民の芸術文化活動を発信し、にぎわいの創出の場となる新たな文化交流拠点として期待されている。
- 10月にJR氷見駅前通りに怪物くんと3匹のお供のモニュメントが、12月には本町地内に「喪黒福造のスマイルベンチ」がお目見え。今後、「氷見市 藤子不二雄®まんがワールド」の充実に向けて、さらにまんがロードを延伸する。



新文化交流施設
国道415号からのイメージ



ヒミカ



怪物くんモニュメント



喪黒福造のスマイルベンチ

©藤子スタジオ

2020年 氷見市の10大ニュース!!

第5位 HIMI NEWS 「地方を元気にしたい」 全国公募で 篠田副市長就任



- 3月末に総務省出身の小野前副市長が任期2年で退任。全国公募していた次期副市長に、国内外から810人の応募の中、元TBSプロデューサーで映画監督の篠田伸二氏が選ばれた。行政出身者にはない民間目線の発想が期待される。任期は4月1日から4年間。

第9位 HIMI NEWS 地産地消を目指して 氷見ふるさとエネルギー(株)設立



- 11月、地域で創出される再生可能エネルギーの利用とその活用による地域内経済循環を促進するエネルギー構造高度化実証事業をさらに推進する「氷見ふるさとエネルギー株式会社」を、市と北陸電力などの共同出資で設立し（北陸初）、エネルギーの地産地消の取り組みをスタートした。

第4位 HIMI NEWS 地域と共に育む 西の杜学園開校（県内初の義務教育学校）

- 3月、西の杜学園に統合する西部中学校と明和、久目、速川小の3小学校の閉校式が行われ、児童生徒と地域住民は、長年の歴史を振り返り名残を惜しんだ。
- 4月から旧速川小の校舎を使い、8月の2学期から旧西部中を改修した新校舎で、就学指定区域外からも児童生徒を受け入れる特認校として、1～9年生の144人が学ぶ西の杜学園を開校。教科担任制の導入や、外国語指導助手（ALT）の常駐などの特色ある運営と9年間の中小一貫体制の中で、児童生徒一人一人と向き合い、多様な個性を伸ばす教育を推進する。

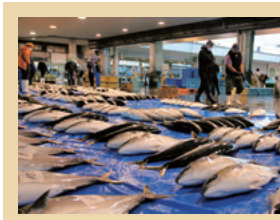


氷見市立西の杜学園



氷見市立西の杜学園

第8位 HIMI NEWS 活気づく魚の町氷見 ひみ寒ぶり大漁



- 12月、氷見魚市場のブランド魚「ひみ寒ぶり」の漁獲量は、3日連続1千本越えとなり2014年度以降6季ぶりの大漁となった。寒ぶり宣言が出されて以降、今季の累計は1万本の大台を超え、丸々太った魚体がずらりと並ぶ市場内は活気づく。今後の本格的なシーズン到来に期待が膨らむ。



ひみ寒ぶり大漁

その他にもこんなことがありました！

新しい子育て拠点「あさひの丘こども園」誕生

- 社会福祉法人「野の草会」が運営する南大町こども園と市上伊勢保育園が統合し、4月、旧朝日丘小学校跡地に「あさひの丘こども園」が開園した。



氷見きときとファンクラブ設立

- 10月、市と継続的に多様な形で関わる「関係人口」拡大の取り組みとして、市公式ファンクラブを設立。市からの情報発信やファン同士の交流機会の提供等を通じて、市外在住の氷見のコアファンを増やし、市の発展と豊かなまちづくりに繋げる。



気温が低いときでも換気の実施

- ・30分に1回以上、数分程度、窓を全開にして換気しましょう。
- ・空気の流れを作るため、部屋に窓が複数ある場合は2方向の窓を開け、窓が1つの場合は窓と部屋のドアを開けましょう。

基本的な感染対策

- ・マスクの着用
- ・手洗い・消毒
- ・3密の回避
- ・人と人との距離確保

など基本的な感染対策の徹底にご協力をお願いします。

適切な保湿（湿度40%以上を目安）

- ・加湿器や洗濯物の室内干しを利用し、換気しながら加湿をしましょう。
- ・こまめな拭き掃除をしましょう。

冬の 新型コロナウイルス感染症 対策と対応

新型コロナウイルス感染症の感染拡大以降、初めての冬を迎えました。インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時流行に備えて対策を行い、発熱などの症状があるときは、適切に対応することが重要です。

発熱時は、かかりつけ医に電話相談を

- 【問合せ】 高岡厚生センター氷見支所 ☎74-1780
- 発熱などの症状がある場合の受診・相談体制が変わりました。
- (1) まず、かかりつけ医などの身近な医療機関へ電話でご相談ください。
 - (2) かかりつけ医がいないなど、相談先に迷う場合は、「受診・相談センター（高岡厚生センター氷見支所）」へ相談してください。

県では、発熱などの症状のある人が、かかりつけ医などの身近な医療機関で適切に診療・検査を受けられるよう、発熱患者などの診療・検査を行う医療機関を「診療・検査医療機関」に指定しています。公表に同意した医療機関については、県ホームページ内「発熱等がある場合の受診・相談方法について」で確認できます。



金沢医科大学氷見市民病院からのお願い

【問合せ】 金沢医科大学氷見市民病院 ☎50-8194（直通）

発熱などの症状がある人は、他の患者と接触しないよう発熱外来で診療しますので、事前に電話で予約してから受診してください。

電話予約受付（当日分のみ受付）

時 間 月～金曜日（祝日除く）
午前8時45分～11時、午後1時～4時

確認事項 氏名・生年月日・住所・症状・連絡先（携帯電話番号）

診療時間 月～金曜日（祝日除く）
午前9時～11時、午後2時～4時
※中学生以下は、午前11時～正午

※年末年始（12月29日(火)～1月3日(日)）は対応が異なりますので、電話でお問い合わせください。

感染リスクが高まる 「5つの場面」に気を付けましょう

場面1

飲酒を伴う懇親会など

場面2

大人数や長時間におよぶ飲食

場面3

マスクなしでの会話

場面4

狭い空間での共同生活

場面5

居場所の切り替わり

高齢者のPCR検査助成事業を開始しました

【問合せ】 健康課 ☎74-8062

感染拡大や高齢者の重症化を予防するために、行政検査（感染症法に基づき県が実施する検査）の対象とならない高齢者のPCR検査費用を助成します。

対 象 65歳以上の高齢者または60歳以上65歳未満の慢性閉塞性肺疾患、慢性腎臓病、心血管疾患等基礎疾患を持つ人（身体障害者手帳1級相当）のうち、新型コロナウイルス感染への不安が強く、検査を希望する人

期 間 令和3年1月～3月

個人負担金 10,000円

※感染拡大の状況によっては、希望通りに検査を実施できない場合があります。医療体制の維持にご理解とご協力をお願いします。詳しくは、健康課へお問い合わせください。



令和3年 市内各施設仕事始め



4日(月)から

■市役所	
市役所 ※1	☎74-8100
コンビニ・マルチコピー機の証明書交付 ※2	
(住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍証明書、戸籍の附票)	
水道の開閉栓	☎74-8206
■病院	
金沢医科大学氷見市民病院 ※3	☎74-1900
■社会教育・生涯学習施設	
いきいき元気館（氷見市児童館）	☎74-8063
地域子育てセンター	☎74-8453
海浜植物園 ※4	☎91-0100
ふれあいスポーツセンター ※4	☎74-8500
市民プール・トレーニングセンター ※4 ※5	☎91-5000
■高齢者福祉施設	
寿養荘	☎74-8400
■観光施設	
(一社) 氷見市観光協会（JR氷見駅内）	☎74-5250
漁業文化交流センター（ひみの海探検館）	☎74-8018
潮風ギャラリー（藤子不二雄Aアートコレクション）	☎72-4800
■その他	
IJU（移住）応援センター	☎54-0445
■ごみ処理施設	
燃やせるごみ 高岡広域エコ・クリーンセンター	☎91-0205
燃やせないごみ 不燃物処理センター	☎76-1153
分別資源ごみ リサイクルプラザ	☎76-8020

「コロナ相談@富山県」をご利用ください

【問合せ】 富山県健康課 ☎076-444-2176

新型コロナウイルス感染症や、それによる仕事や生活への不安などをLINE・電話で相談できます。

相 談 期 間 ～3月31日(火)（12月29日(火)～1月3日(日)を除く）

相談対応時間 午後6時～9時（受付は午後8時30分まで）

■LINE相談窓口（利用にはLINEアプリへの登録が必要です。）

次のアカウントをLINEで友だち追加することで、相談員（公認心理師、SNSカウンセラーなどの有資格者）へ個別にトーク相談することができます。

相談方法

- 1 アカウント「コロナ相談@富山県」を →
- 2 トーク画面で「相談する」をタップ。
- 3 メッセージに従い「お住まいの市町村」、「年齢」、「性別」を入力。
- 4 相談員から返信があり、相談を開始します。

■電話相談窓口 ☎076-461-5614へお電話ください



5日(火)から

■社会教育・生涯学習施設	
図書館	☎74-8226
博物館	☎74-8231
中央公民館	☎74-8240
B&G海洋センター	☎91-5136
働く婦人の家（ホビーラ大浦）	☎91-4109
■観光施設	
ひみ獅子舞ミュージアム	☎72-2454

※1 宿日直室はこの看板が目印です！



※1 休業期間中、出生・婚姻・死亡などの届出は、日（宿）直者が受け付けます。

■場所 宿日直室（正面玄関向かって右、西側入口）

※2 マイナンバーカードが必要です。

※3 救急外来は休業期間中も診療を行います。受診する際は、健康保険証を必ずご持参ください。

※4 5日(火)は休館日です。

※5 4日(月)は午後2時から営業します。

ごみ収集と振替日

【問合せ】 環境防犯課 ☎74-8082

■1月1日（金・祝）～3日(日)は全ての収集を休みます。

■資源ごみの収集を振替日に行います。

対象地区 神代地区（大浦・大浦新町・堀田・神代・蒲田・矢方）

収集対象物 缶・びん・紙製容器包装・段ボール・新聞紙・雑誌類・プラスチック製容器包装

振 替 日 1月10日(日)

※いつもどおり決められた時間までに出してください。臨時対応のため回収時間は前後することがあります。

※燃やせないごみは出せません。

